令和７年度

事業報告書

（令和７年４月１日 ～ 令和８年３月３１日）

社会福祉法人真盛園

令和７年度　社会福祉法人真盛園事業報告

１．法人の事業

令和７年度も引き続き物価高騰による光熱水費及び食材費などの経費が上昇する中、収支バランスの適正化がより一層求められました。支出に関しましては、令和６年度に介護報酬が改定され、一部物価上昇やエネルギー高騰に対する対応はとられましたが、決して十分とは言い難く実質的な運営負担は依然として高い水準にあります。また人材確保についても採用が困難な状況が続いており、既存職員への負担が増加する傾向がみられました。

このような状況の中、国も令和７年度補正予算において物価高騰及び介護人材不足への対応として、介護職員の賃上げ及び職場環境改善を目的とした補助や、物価高騰対策として光熱水費・食材費などの補助を目的とした支援が講じられました。このことにより人件費および一部経費の補填ができ、安定的な事業運営に繋がりました。また、中期計画をもとにした運営サービスの廃止や移転によりコスト削減を図り、法人の収支改善に効果がみられました。収入に関しましては、一部サービス事業において利用者確保に課題がみられましたが、各サービスにおける稼働状況は概ね安定的に推移し、予算に基づいた収入の確保に繋がりました。特に、令和７年７月にショートステイから特別養護老人ホームへ５床転換できたのが非常に大きかったと思われます。また民間の補助金を活用し、限られた財源の中で計画を実行することができました。

こうした環境の中、稼働率の向上、人材の確保及び定着、加算の適正取得並びに業務の効率化を一層推進し、安定的な事業運営とサービスの質向上を図る必要があります。令和７年度も引き続き、中期計画を指針として経営改善に取り組んで参りました。

①経営管理

（１）中期計画の実行性を評価した上で随時見直しを行う

すでに実行中である計画について随時その成果の評価を行う。

（２）中期計画をもとに長期計画（施設整備・運営事業）の策定をする

運営事業の在り方、施設の老朽化、生産性向上、地域共生・地域貢献等々について検討する。

②財務管理

（1）防災体制の強化

災害時用備蓄品の点検と整備を行う。

（2）各サービスの加算について定期的な見直しを行う

各サービスの加算について適宜判断して取捨選択する。

（3）新たな組織図をもとに給与体系の見直しを行う

新たな組織図および給与体系（票）の策定を行う。

（4）予算管理を徹底し、予算に基づいた収入の達成、支出の執行を行う

令和７年度（当初・補正）予算においては、当初予算での収入達成、支出執行がおおよそ行えている。また、補正予算での収入増加および支出増加については国、民間からの補助金によるものであり、補助額に対する支出の執行を行った。

③人事管理

（1）安定した人材を確保するため、外国人採用について情報を収集する

外国人留学生（３名）を受入れており、今後も継続的に採用していく。

（2）人事考課を行う

人事考課表を策定し、令和８年１月より運用をスタートする。

（3）人事異動を定期的に行い、各サービスで柔軟に対応できる人材を育てる

令和７年度は最小限の異動で終わったが、今後も計画は検討実行していく。

（4）外部・内部研修に参加し、自己研鑽を積みサービスの質を確保する

外部・内部研修実績参照。

④事業管理

（1）地域における公益的な取り組みについて再度検討する

地域交流センターを令和７年４月１日より禅明坊へ移転し、今後の活動について検討する。

（2）職員満足の追求

職員の職場環境、福利厚生の充実を図る。

⑤情報管理

（1）インターネットセキュリティ対策（法人・個人情報漏洩）の強化

新たなセキュリティエージェントの導入により、ウィルス／不正プログラム検出、スパイウェア、ネットワークウィルスなどの情報を週次レポートとして受け取り、常時ネットワークセキュリティの監視、管理を行う。

（2）生成ＡＩの活用に向けて情報を収集する

それぞれの用途に合わせた生成ＡＩの活用方法について情報収集する。

2．法人の運営管理

（1）役員会等について

①第１回理事会

<開催日>　令和7年6月6日（金）午前１０：００～１２：００

<会　場>　宗教法人西教寺禅明坊会議室

<議　題>　１．「令和６年度社会福祉法人真盛園事業報告について」

２．「令和６年度社会福祉法人真盛園決算報告について」「監事監査報告」

３．「社会福祉法人真盛園理事・監事の推薦について」

４．「社会福祉法人真盛園評議員の推薦について」

５．「社会福祉法人真盛園評議員選任・解任委員の選任について」

６．「特別養護老人ホーム真盛園運営規程改定について」

７．「ショートステイ真盛園運営規程改定について」

８．「経理規程及び経理規程細則改定について」

９．「定時評議員会の開催について」

１０．「評議員選任・解任委員会の開催について」

<報告事項>「定款の改定について」

「大津市指導監査の結果について」

「理事長及び常務理事の職務執行状況について」

「令和６年度社会福祉法人真盛園後援会決算報告について」

②第２回理事会

＜開催日＞　令和７年6月２４日（火）午後１：００～１：３０

＜会　場＞　宗教法人西教寺禅明坊会議室

＜議　題＞　１１.「社会福祉法人真盛園理事長選任について」

１２.「社会福祉法人真盛園常務理事選任について」

③第３回理事会

＜開催日＞　令和７年7月３１日（木）書面決議

＜議　題＞　１３.「特別養護老人ホーム真盛園運営規程改定について」

１４.「ショートステイ真盛園運営規程改定について」

④第４回理事会

＜開催日＞　令和７年9月３０日（火）書面決議

＜議　題＞　１５.「就業規則改定について」

１６.「準職員就業規則改定について」

１７.「育児休業及び育児短時間勤務に関する規程改定について」

１８.「給与規程改定について」

１９.「個人情報保護管理規程改定について」

⑤第５回理事会

＜開催日＞　令和７年１１月5日（水）書面決議

＜報告事項＞「理事長及び常務理事の職務執行状況について」

⑥第６回理事会

＜開催日＞　令和８年1月３０日（金）書面決議

＜議　題＞　２０.「就業規則改定について」

２１.「準職員就業規則改定について」

⑦第７回理事会

＜開催日＞　令和８年3月１６日（月）午前１０：００～１２：３０

<会　場>　宗教法人西教寺禅明坊会議室

<議　題>　２２.「令和８年度社会福祉法人真盛園事業計画について」

２３.「令和７年度社会福祉法人真盛園補正予算について」

２４.「令和８年度社会福祉法人真盛園当初予算について」

２５.「令和８年度社会福祉法人真盛園借入金限度額について」

２６.「養護老人ホーム、令和８年度前期末支払資金残高使用限度額について」

２７.「令和７年度第５回評議員会の開催について」

２８.「給与規程改定について」

２９.「経理規程改定について」

<報告事項>「外国人労働者受入れに係る貸付金規程について」

「大津市指導監査の結果について」

⑧定時評議員会

<開催日>　令和７年６月２４日（火）午前１０：００～１２：００

<会　場>　宗教法人西教寺禅明坊会議室

<議　題>　１.「令和６年度社会福祉法人真盛園決算報告について」「監事監査報告」

２.「社会福祉法人真盛園理事・監事の選任について」

３.「定款の改定について」

<報告事項>「令和６年度社会福祉法人真盛園事業報告について」

「特別養護老人ホーム真盛園運営規程改定について」

「ショートステイ真盛園運営規程改定について」

「経理規程及び経理規程細則改定について」

「大津市指導監査の結果について」

「令和６年度社会福祉法人真盛園後援会決算報告について」

⑨第２回評議員会

<開催日>　令和７年８月１日（金）書面決議

<報告事項>「特別養護老人ホーム真盛園運営規程改定について」

「ショートステイ真盛園運営規程改定について」

⑩第３回評議員会

<開催日>　令和７年９月３０日（火）書面決議

<議　題>　４.「就業規則改定について」

５.「準職員就業規則改定について」

６.「育児休業及び育児短時間勤務に関する規程改定について」

７.「給与規程改定について」

８.「個人情報保護管理規程改定について」

⑪第４回評議員会

<開催日>　令和８年２月２７日（金）書面決議

<報告事項>「就業規則改定について」

「準職員就業規則改定について」

⑫第５回評議員会

<開催日>　令和８年３月１６日（月）午後２：００～４：００

<会　場>　宗教法人西教寺禅明坊会議室

<議　題>　９.　「令和８年度社会福祉法人真盛園事業計画について」

１０.「令和７年度社会福祉法人真盛園補正予算について」

１１.「令和８年度社会福祉法人真盛園当初予算について」

<報告事項>「給与規程改定について」

「令和８年度社会福祉法人真盛園借入金限度額について」

「養護老人ホーム、令和８年度前期末支払資金残高使用限度額について」

「外国人労働者受入れに係る貸付金規程について」

「大津市指導監査の結果について」

「経理規程改定について」

⑬監事監査

＜開催日＞　令和７年5月２７日（火）午後２：００～４：００

＜会　場＞　社会福祉法人真盛園会議室

＜監査事項＞１.「理事の業務執行状況」

２.「法人の財産管理状況」

３.「法人及び施設の業務執行状況」

４.「法人及び施設の会計状況」

５.「その他事項」

（2）感染症・災害対策について

・衛生委員会を開催し衛生対策・感染対策の対応について協議する。また、職員の労働災害防止対策についても協議し、職場の労働環境の整備を図る。

・災害対策として非常時連絡ツール「ＡＮＰＩＳ」を使用し、職員の安否確認並びに非常時の参集連絡ツールとして使用する。

（3）雇用

・職員数と致しましては、令和８年３月31日時点で正規職員７３名、非正規職員４７名、派遣職員5名、合計で１２５名となっており、合計数では昨年度末と比較して６名減少している。

（4）その他

・安全衛生の面から健康経営に取り組み、具体的には健康診断再検査１００%、健康講座の開催、福利厚生事業の更なる推進、メンタルヘルス窓口の案内等々、職員の安全と健康を守るための取り組みを実施する。

３．給食計画実績

（年間行事）

4月　花祭り、山王祭（鯖寿司）、誕生会

5月　5日（柏餅）、誕生会

6月　誕生会

7月　七夕、祇園祭（鱧おとし）、土用の丑（鰻・土用餅）、誕生会

8月　施餓鬼、誕生会

9月　敬老祝賀会祝膳

１０月　誕生会

１１月　誕生会（握り寿司）

１２月　冬至（南瓜料理）

1月　1日（お節）、2日（祝膳）、7日（七草粥）、１１日（小豆粥）

2月　節分、誕生会

3月　雛御膳

（事業内容）

荷重平均表作成	栄養指導
食糧構成見直し	調理指導
献立作成（常食・療養食）	嗜好調査
献立会議	衛生管理
発注	デモンストレーション
在庫管理	ソフト食の研究・提供
栄養ケアマネジメント	個人対応の食事
特養１２０名カンファレンス	保健所研修
新入所、退院時カンファレンス	養護ケアプラン会議

・利用者は各季節の献立を楽しみにされています。

調理では、利用者のアレルギーや嫌いな食べ物に対する代替品はもちろん、様々な個人対応にも力を入れており、特に食事量が減少した方に少しでも食べていただけるよう、すぐに対応しています。

利用者に安全で美味しい食事を提供出来るよう日々工夫しました。

令和７年度社会福祉法人真盛園年間事業報告表

項目／月	行事			研修・会議	災害訓練	健康・衛生管理	全国･近畿･県内の各種会議･研修会
	給　食	レクリエーション	行　事	内　容	内　容		
4	花祭り 山王祭（鯖寿司） 誕生会	お花見	法華千部会 釈迦花まつり	辞令交付式 幹部会議等		衛生委員会	1.全国大会 2.近畿大会 3.滋老協会議 4.県･市主催研修会 5.その他 （オンライン）
5	柏餅 誕生会			幹部会議等 監事監査		職員健診	
6	誕生会			幹部会議等 理事会 評議員会		老人健診 結核予防健診 衛生委員会	
7	七夕 鱧おとし 土用丑（鰻） 誕生会			幹部会議等	土砂災害避難訓練（机上、実施訓練） 消防避難訓練 ＢＣＰ訓練（実施訓練）	健康講座	
8	誕生会		施餓鬼法要 地蔵盆	幹部会議等		衛生委員会	1.各大学･短大 2.福祉専門学校 3.滋賀県･大津市 4.ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ 5.ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰ実習受入 6.その他(看護学校等)
9	敬老祝膳 誕生会		彼岸会 敬老祝賀会	幹部会議等 虐待研修		老人健診 衛生委員会	
10	誕生会	運動会	秋祭り	幹部会議等		健康講座 衛生委員会	
11	誕生会（握寿司）			幹部会議等	消防避難訓練（実施訓練）	インフルエンザ予防接種（利用者・職員） 職員健診 衛生委員会	
12	冬至（南瓜料理）	年忘れ会		幹部会議等		衛生委員会	
1	おせち料理 祝膳 七草粥 小豆粥 誕生会		修正会	幹部会議等			
2	節分 誕生会	節分豆まき	節分会	幹部会議等	ＢＣＰ訓練（実施訓練）	職員健診	
3	雛御膳 誕生会	ひな祭り	涅槃会 彼岸法要	幹部会議等 理事会 評議員会		衛生委員会	

令和７年度施設外研修実績

月	研修内容	会場/ｵﾝﾗｲﾝ	職種	人員	日数
5	抱え上げない介護入門研修	研修会場	CW	4	1
	認知症介護実基礎研修	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	CW	4	
	Microsoft365 Copilot のある働き方を考えるセミナー	ｵﾝﾗｲﾝ	事務局長	1	1
	大津市介護サービス事業者協議会　研修会	研修会場	事務員	1	1
6	中学校出前講座	研修会場	管理者・事務員・CW	3	1
	感染制御リーダー研修	研修会場	施設長・NS	2	1
	成年後見制度啓発セミナー　基礎編	研修会場	相談員	2	1
7	感染制御リーダー研修	研修会場	施設長・NS	2	1
	介護支援専門員　再研修	研修会場	施設長	1	1
	成年後見制度啓発セミナー　応用編	研修会場	施設長	1	1
	経営協青年部会　３県合同研修会	研修会場	相談員	1	2
	滋賀県認知症介護実践リーダー研修	研修会場	CW	1	2
	看護実践力向上研修	研修会場	看護師	1	1
	大津市経営協青年部会　研修会	研修会場	相談員	1	1
	大津市介護サービス事業者協議会　研修会	研修会場/ｵﾝﾗｲﾝ	施設長・事務員	4	1
8	滋賀県認知症介護実践者研修	研修会場	CW	2	3
	滋賀県認知症介護実践リーダー研修	研修会場	CW	1	2
	生産性向上支援訓練　ＡＩ活用研修	研修会場	施設長	1	1
	介護支援専門員　再研修	研修会場	施設長	1	4
	キャリアデザイン研修（チームリーダー）	研修会場	CW	2	2
	認知症チームケア推進研修	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	施設長・CW	3	
	介護支援専門員更新研修（専門課程Ⅱ）	研修会場	CM	1	4
9	滋賀県認知症介護実践者研修	研修会場	CW	2	2
	介護支援専門員　再研修	研修会場	施設長	1	4
	介護支援専門員更新研修（専門課程Ⅱ）	研修会場	CM	1	2
	看護実践力向上研修	研修会場	看護師	1	1
	給食施設関係者職員研修会	研修会場	栄養士	1	1
	おおつ介護に関する入門的研修（基礎講座・入門講座）	研修会場	相談員	1	5
	転倒災害防止＆健康支援セミナー	研修会場	事務員	1	1
	”口を開けない”認知症の方と看取り期の食支援ｱﾌﾟﾛｰﾁ研修	ｵﾝﾗｲﾝ	看護師	11	3
	外国人介護職員　受け入れ事例&研究　発表会	ｵﾝﾗｲﾝ	事務員	1	1

	介護労働安定センター講習会（講師）	研修会場	事務員	1	1
	滋賀県認知症介護実践リーダー研修	研修会場	CW	1	2
10	滋賀県認知症介護実践リーダー研修	研修会場	CW	1	1
	滋賀県認知症介護実践者研修	研修会場	CW	2	1
	医療・介護多職種との連携研修	研修会場	施設長	1	1
	感染制御リーダー研修	研修会場	施設長・NS	2	1
	介護支援専門員　再研修	研修会場	施設長	1	1
	介護事業所のためのAI活用入門セミナー	ｵﾝﾗｲﾝ	全職種	8	1
11	大津市介護サービス事業者協議会研修会	ｵﾝﾗｲﾝ	施設長	1	1
	日吉台学区社協福祉研修会　講師	研修会場	相談員	4	1
	看護実践力向上研修	研修会場	看護師	1	1
	比叡あんしん相談所　地域ケア会議	研修会場	管理者	1	1
	滋賀県老人福祉施設研究協議大会	研修会場	施設長・看護師	4	1
	滋賀県老人福祉施設協議会大津ブロック勉強会	研修会場	施設長・相談員	4	1
12	経営協青年部会講演会	研修会場	相談員	1	1
	フリースペース推進事業研修会	研修会場	管理者	1	1
	経産省　セキュリティ対策評価制度とその対策セミナー	研修会場	事務局長	1	1
	安全運転管理者講習	研修会場	業務員	1	1
1	滋賀県社会福祉法人経営者協議会セミナー	研修会場	施設長	2	1
	福祉経営フォーラム　セミナー	研修会場	施設長	1	1
	厚生労働省　介護情報基盤説明会	ｵﾝﾗｲﾝ	事務局長	1	1
	大津市多職種リーダー会議	研修会場	看護師	1	1
2	大津市介護サービス事業者協議会研修会	研修会場/ｵﾝﾗｲﾝ	施設長・管理者・事務員	3	1
	抱え上げない介護定着研修	研修会場	施設長・CW	3	1
	おおつネット懇・権利擁護サポートセンター研修	研修会場	施設長	1	1
	大津市社会福祉協議会　フリースペース交流会	研修会場	管理者	1	1
	全国健康保険協会滋賀支部　健康経営セミナー	研修会場	事務員	1	1
	滋賀労働局委託事業　経験交流会	ｵﾝﾗｲﾝ	事務員	1	1
	滋賀労働局　派遣先事業所向けセミナー	ｵﾝﾗｲﾝ	事務員	1	1
	滋賀労働局　改正女性活躍推進法等説明会	ｵﾝﾗｲﾝ	施設長・事務員	2	1
3	滋賀県老人福祉施設協議会　相談員意見交換会	研修会場	相談員	2	1
	全老協養護老人ホームブロック代表者会議	ｵﾝﾗｲﾝ	施設長	1	1
	介護現場における生産性向上推進フォーラム	ｵﾝﾗｲﾝ	施設長	1	1

	滋賀県介護サービス事業者協議会　研修会	ｵﾝﾗｲﾝ	施設長	2	1
	社会保険委員事務講習会	ｵﾝﾗｲﾝ	事務員	1	1
	栄養士意見交換会	研修会場	施設長・栄養士	2	1

令和７年度施設内研修実績

実施日	研修タイトル等・講師	対　象	参加者数（名）
４月	新任職員研修 寺崎、高橋、川橋、原、八木、川縁、中村、久野、西山	新任職員	１３名
５月	看取り研修 花澤、梅村	施設部 主任・副主任・課長補佐・課長	２４名
６月	感染症訓練 川橋、田中、合原 抱え上げない介護研修 川橋、小路口、川中 個別介護計画研修 八木 ポジショニング研修 出野　氏	施設部職員 施設部職員 相談員、介護職員 介護職員	１０名 ７名 ６名 ７名
７月	ハラスメント研修 烏野　氏 個別介護計画研修 八木	全職員 相談員、介護職員	７９名（8月含む） ８名
８月	ハラスメント研修 烏野　氏	全職員	７９名（7月含む）
１０月	生産性向上研修 若林　氏（オンライン） 感染症訓練 川橋、合原、栗原	生産性向上委員 施設部職員	７名 １１名
１月	育児介護休業等に関する研修 厚生労働省（動画視聴）	幹部職員	１４名

令和７年度施設内研修実績（ｅ－ラーニング）

実施月	研修名	対象事業所
４月	倫理・法令遵守、人権擁護・虐待防止①	特養、短期、養護、特定
５月	身体拘束防止①	特養、短期、養護、特定
６月	感染症①	特養、短期、養護、特定
７月	事故対応①、看取り	特養、短期、養護、特定
	ハラスメント	特養、短期、養護、特定、デイ、訪看
８月	ＢＣＰ①、急変時の高齢者管理	特養、短期、養護、特定
９月	口腔ケア①	特養、短期、養護、特定
１０月	人権擁護・虐待防止②、褥瘡予防対策	特養、短期、養護、特定
１１月	身体拘束防止②	特養、短期、養護、特定
１２月	感染症②	特養、短期、養護、特定

1月	事故対応②	特養、短期、養護、特定
	虐待防止、ハラスメント	訪看
2月	ＢＣＰ②	特養、短期、養護、特定
	感染症・食中毒、緊急時対応	訪看
3月	口腔ケア②	特養、短期、養護、特定
	個人情報保護、医療安全・ＢＣＰ	訪看

令和７年度　特別養護老人ホーム事業報告

１．利用者の状況

（特養）120 名

◇利用及び入退所の状況（年間入所者数：16 名。退所者数：14 名）

月 / 区分	R7 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R8 1 月	2 月	3 月
在籍者数	113 名	111 名	113 名	114 名	116 名	115 名	115 名	114 名	112 名	110 名	110 名	112 名
入所者数	4 名	1 名	2 名	2 名	3 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	1 名	2 名
退所者数	2 名	2 名	0 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	2 名	2 名	1 名	0 名

◇要介護度（R8.3.31）

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要介護 平均
男	0 名	1 名	6 名	5 名	3 名	15 名	3.53
女	0 名	4 名	32 名	37 名	24 名	97 名	3.76
計	0 名	5 名	38 名	42 名	27 名	112 名	3.7

◆平均年齢（R8.3.31）

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	94 歳	76 歳	82 歳
女	101 歳	75 歳	89 歳
			88 歳

（ショート）5 名

◇年間利用者数（延べ人数）

月 / 区分	R7 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R8 1 月	2 月	3 月	合計
延べ利用人数	234 人	210 人	197 人	169 人	179 人	175 人	126 人	164 人	126 人	123 人	134 人	163 人	2.000 人

◇要介護度（実人数）（R8.3 月実績）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要介護 平均
男	0 名	0 名	0 名	1 名	3 名	1 名	0 名	5 名	3.00
女	0 名	0 名	1 名	3 名	3 名	2 名	1 名	15 名	1.93
計	0 名	0 名	1 名	4 名	6 名	3 名	1 名	20 名	2.20

◇ＡＤＬ別利用状況（実人数）（R8.3 月実績）

歩　行			排　泄			入　浴		食　事	
自立	歩行器 杖歩行	車椅子	自立	誘導 見守り	おむつ	一般浴	特殊浴	自立	見守り 介助
8 名	8 名	4 名	2 名	17 名	1 名	19 名	1 名	10 名	10 名

２．行事及び活動実績

月	行　事	内　容
5.6	遠足（園外活動）	中止
6	運動会	中止
7	七夕　そうめん流し	中止
8	納涼祭	中止
9	敬老祝賀会	祝賀式典のみ。（100 歳、88 歳対象者のみ）
１０	秋まつり　そば訪問	中止
１２	餅つき	中止
2	節分（豆まき）	施設長が節分会の後、各部署をまわりました。

３．総　括

定員　入所：１１５名　⇒１２０名　　短期入所：１０名 ⇒５名

ショートステイ５床の特別養護老人ホームへの転換を行っており、安定した収入増につながっている。

１．　事業計画〇達成できている△達成途中で継続□達成できず見直し

（1）

① 利用者の意向を確認し、生活の中に楽しみや生きがいを感じられるイベントを行う。〇

② 介護過程の展開に基づいた個別介護計画会議を行い、利用者主体の統一したケアを実践する。□　人員不足の為、個別介護計画会議勉強会を開催することが出来なかった。人員補充を優先する。

③ 生活の質を高め他職種連携・チームケアを進める為、最新の正しい情報を共有できるようにする。「生活習慣」を記録する。△記録は増えているが、利用者のニーズをくみとるには質・量・記入者数とも不十分であり、ケアプランや個別介護計画会議勉強会に反映できるように継続する。

④ 「抱え上げない介護定着研修」の受講と「抱えない介護」の定着を目指す。△人員不足の為、研修等が実施できず。人員補充を優先する。A 班６名・B 班６名・C班１名のリフト対象者へのリフト活用を行っている。しかし、リフト活用の教育内容と評価の統一・チェツク体制の組織的な仕組みづくりは達成できておらず、令和８年度の課題となる。

⑤ B 班でのインカム導入を目指す。〇

⑥ 故障している設備の修理とよりよい環境の充実を目指す。（戒光 2F エアコン、戒光寮の壁の塗り替え、大窪寮 2F トイレのドア設置等）△エアコンの一部とトイレドア改修は終了。戒光寮２階のエアコン修繕と壁の塗り替えは令和８年度の課題として引き続き修繕を目指す。

（2）

② 定期的な職員面談を実施して、成長につなげる機会を作る。施設長により年 1 回の面談を実施する。〇

③ 経営方針・介護方針を周知徹底する。□人事考課を通して浸透を図る。人員不足で基本的なケアを実施するだけで精一杯であり、まずは人員補充し、職員の定着を目指す。

④ 健康増進の為、福利厚生の充実に取り組む。△年二回の腰痛検査の実施。令和８年度に健康診断の項

目を増やし、早期発見早期治療につなげてゆく。

⑤ 新人職員・中途採用職員の教育体制の見直しを行う。□採用環境の悪化が激しい。外国人介護職員（留学生）採用を令和８年度に実施して、安定した採用を目指し、ゆとりを作り教育体制の見直しを行っていく。

⑥ 一元化した教育体制を作る為、介護課長・介護課長補佐が中心となって取り組めるように介護職員の人員を確保する。□人員不足の為、課長・課長補佐が現場の応援に入っており、本来業務が出来ない状態である。

⑦ 「根拠ある介護」を行う為に研修を実施し、チームケアを高める為に「看取りの　実践発表会を行う。〇

⑧ 救急救命が迅速に行えるように訓練を実施する。また新人職員教育や機能訓練研修を行う。〇

⑨ 他施設との意見交換会・見学を行い、生産性向上・認知症ケアの質の向上を目指す。〇

（3）

① 特養、ショートステイで４，４００万円の収入を目標とし、施設設備の充実の為の資金を確保する。〇ＳＳ→特養転換により、収入増となり目標を達成できている。平均４，４７５万円/月となっている。

② 「認知症専門ケア加算（Ⅰ）」の取得を目指し、認知症リーダー研修修了者を確保する為の研修受講を進める。□認知症チームケア加算取得を目標に切り替える。人員不足で加算条件である研修等が実施できない為、加算を取得できない。人員補充を目指す。

③ 腰痛予防対策として「抱え上げない介護」に取り組み、介護場面での、抱え上げない介護の為の機器の導入を検討する。〇A・B・C班の全てでリフトの導入と定着が進んでいる。

④ ショートステイのベッド５床を特養に変換し経営の安定化を目指します。〇令和７年７月に転換実施できている。特養・SS 合算で前年度比万円増となっている。

⑤ ＪＫＡ補助事業達成目標達成の為、大窪寮への新規入居者の二分の一以上が「障害高齢者の日常生活自立度 B1」以上となるように入居を進める。〇新入居５名中２名がＢ１以上となっているが、大窪寮全体では歩行される利用者は１４名　車椅子を利用される利用者は２３名となっている。

⑥ 外国人介護職員採用に向けて情報収集を行う。〇令和８年４月より外国人留学生３名を受け入る。採用を継続して、安定した人材確保を目指す。

⑦ 実習生、インターン学生を積極的に受け入れる。〇令和８年４月より実習生２名が真盛園へ採用となっている。

⑧ 無駄をなくす、消耗品等の購入を見直す事で経費削減に努める。△

（4）

① 住み慣れた地域や家で暮らし続けたいという思いを実現するためのショートステイの柔軟な受け入れ。〇ショートステイの利用率は年平均 97%へ向上している。（令和６年度は年平均 77%）

② 「地域に開かれた施設」を目指す。△

令和７年度　養護老人ホーム・特定施設入居者生活介護事業所事業報告

１．利用者の状況

（養護）定員 60 名

◇利用及び入退所の状況（年間入所者数：7 名。退所者数：11 名）

月 区分	R7 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R8 1 月	2 月	3 月
在籍者数	50	51	49	49	49	48	50	49	48	47	46	46
入所者数	0	1	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0
退所者数	0	0	2	1	1	1	0	1	2	2	1	0

＊退所理由の内訳

施設内での看取り又は入院中死亡	7 名	
契約入所へ移行	1 名	
他施設入所（退院見込み無し、養護措置替え等）	2 名	
在宅復帰（自宅）	1 名	計 11 名

＊入所理由の内訳

虐待　（身体的、経済的）	2 名	
独居　（ゴミ屋敷、認知症）	2 名	
家族との関係困難　保護	1 名	
高額収入のため措置終了し、契約入所へ	1 名	
病院を退院　（精神疾患あるが安定したため）	1 名	計 7 名

（特定施設）

◇要介護度別利用者数

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
特定数	要介護1	8	8	9	8	9	9	9	9	10	10	11	11
	要介護2	10	10	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8
	要介護3	7	6	7	8	6	6	6	6	6	6	5	4
	要介護4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3
	要介護5	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
	合計	29	27	28	28	28	28	29	28	28	28	28	27

◇ＡＤＬ別利用状況（令和 7 年 3 月 31 日時点）

歩　行			排　泄			入　浴		食　事	
自立	歩行器 杖歩行	車椅子	自立	介助 見守り	尿パッド 使用者	一般浴	介助浴 一部介助	自立	見守り 介助
26 名	10 名	10 名	28 名	17 名	24 名	21 名	25 名	28 名	18 名

２．　行事及び活動実績

令和７年６月１９日　外食外出　（和食さと）　　利用者３名
令和７年７月１５日　おやつ会（食堂）　　利用者全員
令和７年１０月２１日　お茶会（医務室主催）　　宝珠寮利用者
令和７年１０月２２日　大津市高齢者健康つくりスポーツ大会（皇子山競技場）
　　グランドゴルフ大会　　５名参加
令和７年１２月２日～３日　近江八幡１泊旅行（水茎焼き絵付け体験）　利用者８名
令和７年１２月１４日　年忘れクリスマス会　　利用者全員　養護食堂
令和８年　１月１３日　新年会（すき焼き提供）　　利用者全員　養護食堂

３．　総　括

- 令和７年度は「共有」を年間スローガンとして自身の考えや情報をしっかりと伝えて価値観や思いを分かち合い利用者様に反映できるように各職員が努めてきました。まだまだ課題が残ることが多くありましたが、各自が意識をしながら仕事に取り組めたと思います。引き続き報連相を密にして統一した考えで職員間連携をとり、利用者様によりよい環境を提供していきたいと思っております。
- 生産性の向上についてインカム導入を検討、デモ使用しましたが、道心寮、宝珠寮、食堂棟と 3 棟をまたいでは電波が届かず、今のシステムでは断念せざるを得ませんでした。今後も他のシステムでできないかを探っていきたいと思っております。
- 行事に関しては計画通り、大津市高齢者スポーツ大会参加、利用者 1 泊旅行等実行できました。利用者状態も重度化になってきており、年々旅行に参加できる利用者が減少してきていますが、少人数でも実行できる関わり方を工夫していければと考えています。
- 収入に関しては利用者が入居者７名、退去者１１名と４名減。平均利用者数は 48.7 人/月と前年度よりマイナス２．９人/月となり、養護拠点としては前年比較で約１５０万円のマイナスとなりました。
  令和７年度事業計画で掲げました、養護措置費収入 11.000 万円、特定介護収入 8.100 万円の収入を確保することに関しましては、令和７年度措置費収入は約 10.900 万円、特定介護収入は約 8.340 万となっており予算に対してはおおよそ達成できております。
- 支出については大きな工事もなく、道心寮各居室に丸紅基金様からの補助金として３００万円助成していただき、エアコンを交換し、利用者様により良い環境を整えることができました。
- 措置費に関しては大津市へ措置事務費基本部分を上げていただくよう要望書を提出しましたが、本年度も平成１８年の事務費基準のままで要望は通りませんでした。今後も引き続き大津市と対話を継続しながら要望活動を続けていきたいと思っております。

令和７年度　デイサービスセンター事業報告

１．利用者の状況

（通所介護、介護予防通所介護相当サービス）定員 25 名

◇要介護度（R8.3.31）

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	要介護平均
男	0名	0名	0名	3名	3名	3名	0名	1名	10名	2.3
女	0名	0名	1名	6名	12名	4名	4名	3名	30名	2.5
計	0名	0名	1名	9名	15名	7名	4名	4名	40名	2.4

◇ＡＤＬ別利用状況（R8.3.31）

歩　行			排　泄			入　浴		食　事	
自立	歩行器 杖歩行	車椅子	自立	誘導 見守り	おむつ	一般浴	機械浴	自立	見守り 介助
10名	24名	6名	28名	9名	3名	35名	3名	35名	4名

２．利用者月別利用者数

	事業	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	0名	0名	17名	55名	137名	54名	13名	22名	298名
5月	0名	0名	24名	50名	151名	65名	17名	30名	337名
6月	0名	0名	22名	53名	145名	60名	21名	25名	326名
7月	0名	0名	19名	62名	159名	68名	23名	19名	350名
8月	0名	0名	18名	60名	171名	61名	23名	29名	362名
9月	0名	0名	25名	75名	150名	88名	21名	29名	388名
10月	0名	0名	16名	88名	156名	102名	23名	34名	419名
11月	0名	0名	24名	81名	143名	83名	35名	28名	394名
12月	0名	0名	19名	71名	148名	78名	44名	23名	383名
1月	0名	0名	8名	59名	149名	62名	33名	34名	345名
2月	0名	0名	8名	87名	148名	41名	30名	32名	346名
3月	0名	0名	7名	112名	155名	50名	33名	43名	400名
合計	0名	0名	207名	853名	1,812名	812名	316名	348名	4,348名

令和6年度

計	0名	27名	191名	334名	1,921名	953名	252名	314名	3,992名

３．行事及び活動実績

月	行　事	内　容
4	お花見（さくら） 花まつり	園庭の桜の花見や疎水までドライブ
5	お花見（つつじ） バラ園散策 西教寺風車通り抜け見学	園庭にてつつじの花見 湖西浄化センターに外出、散策 少人数グループで何回かに分けて見学に行く
6		
7	避難訓練 七夕	法人の訓練に参加 フロアに笹を飾り、短冊で願い事を記入して頂く
8	デイサービス夏祭り	屋台風でレクリエーション、おやつを提供
9	西教寺風鈴通り抜け見学 敬老祝い膳	少人数グループで何回かに分けて見学に行く 昼食に祝い膳を提供
１０	デイサービス運動会 秋祭り	１週間に渡りレクリエーションとして運動会を開催
１１	紅葉狩り・ドライブ 坂本学区文化祭 避難訓練	紅葉観賞のドライブにいく 坂本学区文化祭に出店、見学 法人の訓練に参加
１２	年忘れビンゴ大会	年末の１週間ビンゴゲームで景品プレゼント
1	新年祝賀会 初詣 なべパーティー 事業所外レク	新年のゲームを開催 日吉大社前まで 昼食お鍋を提供 外食、買い物、公園散策
2	節分 西教寺ひな人形展見学	法人の豆まきに参加 少人数グループで何回かに分けて見学に行く。
3	西教寺ひな人形展見学	少人数グループで何回かに分けて見学に行く。
毎月 随時	誕生会 作品作り 散歩（西教寺参道、微笑み地蔵など）	曜日を変えて１回。お祝い膳の提供。職員からの誕生日プレゼント 季節感を感じられる作品作り、壁に展示する

４．総　括

令和７年度は稼働率を上げ、経営の安定に努めるため、新規利用者の獲得や複数回利用への調整、キャンセ振り替え利用の調整などを積極的に進めていきました。前年度との比較で新規利用者は１９名（前年度より＋４名）、契約終了者は１１名（前年度より－１０名）、登録者数が８名増加。居宅介護支援事業所へ営業に出向き、CM との連携に心掛け、夏頃から新規利用者が増加し、稼働率も上がりました。

稼働率向上のための広報活動については年間を通して継続的な活動が不十分でした。今年度は継続的な広報活動を行っていきます。

令和７年度事業計画で掲げました毎月 370 万円以上の収入を確保することに関しましては、令和７年度年間事業収入は約 4,370 万円となっており、月換算致しますと 364 万円となり、計画目標の金額に少し届きませんでした。

全職員が E ラーニングを視聴したことにより、知識の向上によるサービスの向上に繋がりました。

新たな加算の導入のため、個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ、口腔機能向上加算Ⅰ・Ⅱ、科学的介護推進体制加算の取得に向けて導入支援ソフトの情報収集を行いました。

利用満足度を高めるため、歩行訓練の一環として西教寺の参道や微笑み地蔵まで歩く機会を提供、屋外レクリエーションなど利用者が喜ばれる活動を行いました。日常的にもきめ細かいサービスを心掛けて提供し、CM からも安心して利用できると評価を頂きました。

「フリースペースしんせい」は７月まで小学生男の子１名、１０月から幼稚園年長の女の子の利用がありました。年長の女の子に関しては、初めての女の子の利用、そして幼稚園年長と未就学児であり、どのように対応していくか心配なことが多々ありましたが、女の子は人懐っこく、すぐに職員とも仲良くなりました。利用していくうちに、徐々に自分の考えや思いも言えるようになり、本人も保護者もフリースペースを楽しみにしてくれましたが、この４月から小学校に入学となり、小学校生活に慣れるためにフリースペースは一旦卒業となりました。最後のフリースペースでは本人より「小学校頑張るからね」と力強い言葉がありました。小学校生活に慣れ、本人がまた利用したいと希望があれば、再開したいと考えています。

令和７年度　訪問看護ステーション「和顔」事業報告

１．利用者の状況

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年1月	2月	3月	延べ
介護　保険(人)	18	19	18	18	20	20	19	19	21	21	19	20	232
医療　保険(人)	6	7	7	5	6	5	5	5	5	6	4	6	67
保険外(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ訪問件数(件)	206	214	213	237	222	232	215	186	217	200	192	217	2364

２．連携状況

・指示書発行機関（病院・医院）： 21 機関

・居宅介護支援事業所： 12 機関
・サービス担当者会議、比叡エリアの多職種連携の強会、大津市訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ連絡協議会へ出席

３．　活動状況

・10 件(平均)/日　訪問看護実施(常勤換算 2.5 人で対応)
・営業時間外（緊急当番訪問看護や土日祝日の臨時訪問看護）：203 件/年　(約 17 件/1 か月)

４．　総括

・夜間や休業日(土・日・祝)の緊急訪問や臨時訪問時にも対応。その際、ケアカルテを利用し、
休日の一人での訪問や、次回の訪問に備え情報共有や発信に活用できている。
しかし一方で、日々変わる病状や新たな薬剤治療の導入など治療内容の変更や医師の指示内容などの詳細な情報を入力する必要があり、記録作成を勤務時間内に終えることが難しくなっている。
新しい記録作成ツールの導入が必要。

・常勤者が１名減少したのちも、通常訪問や土日祝日対応もケアマネジャーの計画に沿って予定通り実施できている。
しかし、現行ステーション開設必要人数 2.5 人のままでの状態で、交代要員が不在であるため、有給休暇の計画的利用や休日出勤後の代休処理が追い付いていない状態がつづいている。
事業所の体制維持と事業継続の上でワークライフバランスの是正が必要。
そのため新規職員の獲得に向け、事業所の特性や活動内容を SNS などの媒体を活用し継続的に発信していくことが今後も求められる。

・訪問看護の利用者のニーズに応じて随時学びを深めることは重要であり、新しく利用者を獲得していくためには広く他の分野や内容についても見識を得る機会を持つことが大切である。
利用者への訪問看護提供におけるサービス内容向上やケアマネジャーからの依頼に応えていくために、職員各々の研鑽の場以外にも事業所単位としての取り組みが必要。

令和７年度　地域交流センター「老いも若きも」事業報告

１・活動実績

◇利用者数・ランチ数・利用日数

月	利用者数	利用者数の内訳			ランチ数		利用日数
		子供	大人	高齢者	弁当	軽食	
4	２１	0	1	２０	0	0	１５
5	２５	0	2	２３	0	0	１３
6	６４	１８	１７	２３	0	0	１７
7	３５	１２	7	１６	0	0	１６
8	１６	0	7	１６	0	0	１５
9	３１	0	3	２８	0	0	１６
１０	２１	0	7	１４	0	0	１５
１１	７２	4	１３	５５	0	0	１４
１２	１２７	２０	３８	６９	0	0	１６
1	３４	8	4	２２	0	0	１５
2	６２	１２	１６	３４	0	0	１５
3	５８	2	１７	３９	0	0	１７
合計	５６６	７６	１２５	３６５	0	0	１８４

◇事業及び行事内容

年　月　日	行事および事業内容	参加人数
令和７年１１月１２日	手作り講座「クリスマスリース」	４名
令和７年１２月　１日	「漫談と生演奏による歌」	３９名
令和８年　１月２１日	「おはなしの会」	５名
令和８年　２月　３日	節分	５名
令和８年　２月１８日	手作り講座「お雛様リース」	７名
令和８年　２月２５日	手作り講座「お雛様リース」（18 日欠席者分）	５名

総　括

友だち同士の交流の場・趣味やサークル活動の場として利用されています。しかし移転したことで、移動手段が必要となり利用者数は大幅に減ったと思われる。

季節限定の喫茶を提供したことは地域の方だけでなく観光で来られた方にも利用いただけました。

手作り講座やおはなしの会等を定期的に開催し、今後も幅広く地域交流センターを利用していただけるよう、サービスの向上に努めて参ります。